

(1) 第1回企画部会で議題等となった事項

No.	分類	提案先部会	提案の概要	提案の趣旨など
1	企画部会で 審議したもの	防災・減災・県土強 靱化部会	道路のガードレールについて、ワイヤーロープ化を進めるべきではないか。	- 通常のガードレールでは死角が生じてクマが身を隠しやすく、歩行者や車両との突発的な遭遇事故のリスクが高い。 - ワイヤーロープ化により、道路外の視認性を高めることで、即座に発見でき回避行動が可能になる。
2	企画部会で 報告したもの	—	政策7と8は全ての土台になる取組であり、政策としての位置づけは違和感がある。立ち位置を見直す必要があるのではないか。	- 政策7と8はビジネスではなくモニタリング的要素が強い。 - 他の政策と横並びではなく、基本政策的な位置づけになるのではないか。

(2) 上記以外における他の部会への提案・参考意見

No.	分類	提案先部会	提案の概要	提案の趣旨など
1	他の部会への 提案・参考意見	農林水産部会	クマ肉処理の環境を整備し、秋田に行けばクマが食べられるといったポジティブなイメージに変えていく必要がある。	- 捕獲したクマの活用が進んでおらず、てこ入れの余地がある。 - クマ肉として消費してもらうにはクマ肉加工施設を整備する必要があるが、多額の整備費用がかかる。
2	他の部会への 提案・参考意見	産業部会	長期的には県産再生可能エネルギーの活用を県内企業に徹底してもらう必要がある。	- 県内企業による県産再エネの活用にはまだ十分に余地がある。 - 環境価値の創造を本県の魅力として企業誘致につなげていく必要がある。 - 県産再エネの利活用が進めば、県内において稼げる産業である電気小売り事業者の増加につながる。
3	他の部会への 提案・参考意見	観光・交流部会	免許返納により移動が不便になるので手放せないのが実情だ。安心して返納できるよう、デマンドタクシーなど買い物に行ける環境を整備していくのは高齢化社会で大切だ。	- 免許返納に踏み切るには、代替の移動手段の確保が不可欠である。 - 免許返納者を含む高齢者の生活を維持できるよう、地域のコミュニティ交通の整備が求められる。
4	他の部会への 提案・参考意見	防災・減災・県土強 靱化部会	予算の都合もあるが、自転車専用レーンの色分けや、歩行者と自動車の物理的な分離を推進していければいい。	- 法改正により、自転車走行については、原則車道走行となったことで、道路によっては自動車との接触の危険性がある。 - 走行箇所を物理的に分ける必要があるが、現状、県内の道路において分離している箇所は少ない。